

ウチダザリガニ

(学名：*Pacifastacus leniusculus*)

- 原産国：アメリカ北西部。もともと日本には分布していなかった。1926年～30年（昭和元年～5年）に水産資源（食用）として、アメリカから輸入された。その一部が北海道の摩周湖や滋賀県の淡水池に放流され定着が確認された。
- 体 長：11～15cm程
- 国内の生息地：冷涼な河川や湖沼。
- 特 徴：体色は赤～茶褐色で、頭の形は3つの山形、ハサミの付け根に白い模様がある。攻撃的で肉食性が強く、よく共食いをする。
- 分 布：北海道東部の河川や湖、道北の河川、道央の湖、千葉県、神奈川県、福島県など、近年、分布域を拡大している。
- 影 響：雑食性で小魚や昆虫、水草などを食べ本来の自然を破壊してしまう恐れがある。また、ニホンザリガニと分布域が重なっており、ニホンザリガニの駆逐が懸念される。2006年2月、外来生物法に基づく**特定外来生物**に指定され、放流や生きた個体の運搬などが規制され、違反すると罰金や懲役が科せられる。

